



みんながつくる みんなのふくし

市民の皆さまへ

3月11日、東北地方を襲った巨大地震。被害は日を追って拡大しております。市民の皆さまも被災された家族の安否や今後の生活などに不安を抱えていると思います。横手市社会福祉協議会でも、関係者と連携を図りながら、被災者の支援と市民の皆さまの不安の解消に可能な限り対応させていただきます。

ご本人やご家族、また、お住まいの地域で、不安を抱えている方や支援を必要としている方がありましたら、社会福祉協議会の最寄りの各福祉センター、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等にご連絡願います。

市民の皆さまにおかれましては、お互いに励ましあい、支えあいながら、引き続き、見守りや支援などにご尽力ご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

東北関東大震災義援金募集 ～あなたの善意が東北を救います～

義援金は、秋田県共同募金会、中央共同募金会を通じて、各県の被災者に届けられます。

(受付窓口等のご案内……4ページに紹介)



限りを尽し支援を

三月十一日、巨大地震発生。想像を絶する津波、災害、そして原発事故。死者、不明者は三万人近く、避難民の数は三十万人にも及んでいます。言いようのない惨状、被災者の避難生活が伝えられています。

私たちの今の生活は、災害、戦争の犠牲者の上に築かれてきたもの。戦争の教訓から平和が生まれ、被災の歴史から安全が追求されてきたのです。今回の犠牲者は私たちの身代わりと言えます。また、その是非はさておき、原発の存在が経済成長を促し、支えてきたことも事実なのです。

私たちはたった一夜の停電で済みました。しかし、いまだ避難生活を続けておられる方々は、必死で命をつないでいるのです。

少しばかりの物資不足、停電など問題ではありません。隣(県)の人々の災難です。

社会福祉協議会では、共同募金会を通して義援金を募っております。いくらでも、何回でもかまいません。

一人一人が「限りを尽し支援を」と呼びかけたいと思います。

横手市共同募金会

会長 武藤 吉 克

横手市福祉協力員会運営委員会

会長 松村 忠

横手市社会福祉協議会

会長 佐々木 義 広

家族のきずな 地域のきずな

地域の皆さんの声

被災者への思い

平鹿

【浅舞感恩講保育園】

地震発生時は外へ避難した。子ども達は日頃から避難訓練しているのて慌てずスムーズに避難できた。停電となり電話が使えない状況だったが、ホームページで保護者の皆さんにお迎えに来てもらえるように周知した。(日頃から緊急時の連絡手段としてホームページを利用し情報発信している)

【訪問入浴ご利用のご家族】

酸素吸入、痰吸引を必要としており、今回の地震による停電の際、真っ先に車から電気を繋いで家族一丸となって24時間体制で介護しました。

横手

【北地区民生児童委員協議会長：堀江光雄さん】

地震で電話が通じなくなり担当地区の単身高齢者を中心に見守り安否確認をしてまわった。皆さん幸い無事であったが情報が無いことが不安感を募らせていたようだ。

今後の課題として、単身高齢者等の安否確認のためには福祉担当に限らず行政職員全員ほか福祉関係者が地域を分担して訪問する体制が必要なのではないかと感じた(担当者だけでなく横のつながりをもった行動が必要だと思う)。広報車の声が聞こえなかったり内容が伝わらなかったりして情報不足であったと思う。きめ細かい情報提供を望む。

【北地区の福祉協力員さん】

翌日、地域の単身高齢者のことが気になり、同地区担当の民生児童委員さんと訪問をした。「何か被害はなかったですか？」の問いに「まず、おっかやして おっかやして」「何とすればいいかわからね」「まんず長い夜だったごと」…とその日初めて会う私たちに不安な思いを話しかけてきた。一通り話をしてホッとしたような皆さんの顔を見て、当然のことながら廻って歩いて良かった、意義深い一日だった。

【車いす連合会Sさん】

地震の揺れは驚いたが、車いすを利用する上で特に困ることは無かった。水や電気については不便を感じた。自分たちのことよりも、ゲートボール大会で交流した岩手県や宮城県の車いす利用者のことが心配に思う。車いす利用者は体温調節が大変な人が多く、雪が降るような寒さをどうしのいでいるのか心配。また車いす用トイレがない体育館などの避難所にいる人はどうしているのかなど。他人事とは思えない。無事を祈っている。

【全盲者のご家族】

普段の便利な生活に慣れてしまい、電気の灯りや食物やろうそくが必要なことに気がついたのが3時間後くらいで、近くのスーパーにはすでに食物が少なくなっていた。

しかし、全盲者は家族が一番の頼りなので特に心配しなかったとのこと。地震発生時は自分の身を守ることであったが、その後で一番困ることは、通訳者がいないこと。入ってくる情報が無くなるため。家族としても常に一緒に行動しなければいけないと思った。

停電などテレビの字幕での情報も、見続けていないといけないので近所の人など第三者から教えてもらえると思った。

【居宅介護支援事業所のご利用者】

地震後すぐに近所の方が来てくれたり、いろいろな方から電話をいただきありがたかった。地震時以降、入浴ができず身体が冷え、眠れず一晩中懐中電灯をつけていた。水、食料はどうか間に合ったが、戦時中の事を思えばこれくらいのことでは大丈夫、我慢できるという思いでいた。

雄物川

【80代の女性】

一人で家にいて、昼寝をしているときに地震がきた。おさまってから、隣家へいった。帰ってきた家族が、自分がいらないのを心配し、村中を探し回った。ありがたかった。

大森

【横手市老人クラブ連合会／大森地域老人クラブ連合会 会長 成田 浩さん】

大森地域老人クラブ連合会一行(54名)は、3月8日～10日の3日間、(地震が起こった前日まで)今回の大地震で津波にのみ込まれた岩手県大槌町の浪板観光ホテルへ旅行に出かけていた。「とても人事とは思われない。こんな時こそ助けあって、少しでも力になれば。」と会員が声をかけ合い義援金を集めてまわる事にした。

十文字

【身体に障がいを持つ60代の女性】

地震の注意を促す携帯電話メールの送信があった後に地震を感じ、ストーブ等の火の始末をしてから外へ出た。隣近所にも大声で注意を促したが、隣家の一人暮らしで障がいを持つ方は家から出られない状況であったため、他の近所の方々と協力して避難させた。その後、民生児童委員が安否確認に来て無事を伝えた。

どの世帯も避難場所がわからないようだったため、住民にわかるような形で避難場所を伝えてほしい。避難場所がわかっていたとしても、障がいを持っていると自力で移動することは困難であるし、家族がいる世帯であっても、日中は家に高齢者一人という世帯もある。(特に日中は若い人が周囲にいない)今回の地震後は、いつも以上に地域の声のかけが多くなったと思う。

大雄

【デイサービスご利用のご家族との対応】

茨城県に在住の子どもから実家にいくら電話をしても連絡が取れないと大雄福祉センターに連絡が入った。「こちらから電話連絡を入れてみます」と一旦電話を切った。その後、ご利用者宅に電話をするも連絡が取れず、職員が直接訪問し、安否を確認。再度子どもから事務所に連絡が入った際に、無事であることを伝え「安心しました。ご迷惑をおかけしました。本当にありがとうございました。」と御礼の言葉をいただきました。

平寿苑

【デイサービスご利用のご家族】

地震発生後、怖がる寝たきりの義母、立ち上がりが不自由な義父に声かけをしながら揺れがおさまるまでじっとしていた。当日の夜は、家族が揃って義母のベッドがある居間で過ごした。この後の利用が可能かどうかを事業所に連絡をしたが停電のため電話が繋がらなかったが、職員の方が訪問をして知らせをしてくれた。

3月11日午後2時46分頃に発生した「東北関東大震災」は、幸いにして、横手市での大きな被害はなかったものの、市民生活に大きな影響を及ぼしました。当社協としても、地域の関係者と連携を取りながら、各地域で支援を必要とする方々の安否確認を、介護保険サービスご利用者の安否確認と支援を、また、特別養護老人ホームの入居者の方の生活に支障をきたさないための対応等に努めました。

その時 どうした

地域福祉関係では

■十文字福祉センター

地震発生後、センター内にいるデイサービスご利用者の安全確保に努めた。その後、安心電話等で通報があった方への訪問と居宅からも情報を得ながら単身高齢者等の安否確認を行った。翌日、地域局に出向き、単身高齢者等の安否確認について協議し、分担して全民生児童委員宅に訪問した。また、その夜にセンター内の停電復旧を確認した。

■山内福祉センター

地震発生当日、地域局と連携し、単身高齢者の安否確認の訪問活動を実施。翌日は、地域局災害対策本部と連携し、民生児童委員と市政(福祉)協力員へ緊急連絡先の文書を配布しながら情報収集をし、避難希望者の確認と避難所設置準備で炊き出しの手伝いを行った。



介護保険事業所では

■雄風荘(デイサービス)／雄物川

地震発生時、ご利用者20名の内、19名は食堂にてレクリエーション活動。1名はトイレを利用していたため、安全確保のために職員がトイレに向かった。同時に他の職員が厨房の火の元確認に向かった。他の全職員は、相談員の指示で食堂のご利用者の安全確保と健康状態を確認しながら、状況が落ち着くまで待機。その後、避難経路を確保し、揺れが落ち着いてからお茶の時間を設け、利用者の不安解消に努めた。当日は、いつもより早く帰宅させるなどの対応をとった。

■十文字福祉センター…指定居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)

地震発生当日、担当の単身高齢者等の世帯を分担して安否確認を行い、念のため担当民生委員及び近隣に見守りや声かけ等をお願いした。なお、翌日も訪問して体調等を確認した。

■十文字福祉センター…デイサービスセンター

地震発生直後、ご利用者の安全を確保し、帰宅の支障がないご利用者から順次送迎した。翌日早朝、停電等のためサービス中止を利用者宅に訪問して伝えた。翌明け14日(月)に営業を再開するが、緊急時の対応のため、利用者に緊急連絡先の再確認と送迎時間変更の可能性があることを通知した。

特別養護老人ホームでは



社協の運営する平寿苑・雄水苑・憩寿園では地震発生後、直ちに職員が駆けつけ、避難誘導を行いました。

地震により電気・水道・ガスが停止しましたが、自家発電等により最小限の明かりと暖房の確保と食事や水分も提供させていた。また、夜勤等含め職員体制を増やし、見守りや声かけを強化しました。

ご利用いただいたいる皆さまには不安な一夜となったと思いますが、大きな混乱や体調の変化もなくお過ごしいただいたところであります。

東北関東大震災義援金を募集します お願い

“被災者のためにできること” 皆さまの助けあいの気持ちを義援金としてお寄せください

震災発生後、各方面で義援金の募集を行っておりますが、横手市共同募金会では、市民の皆さまから幅広くご支援賜りたく、この度、戸別訪問による義援金の募集をさせていただくことにしました。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

- 実施期間 平成23年4月30日(土)まで
- 実施方法 地域の福祉協力員や係の方がご自宅などにお伺いし、義援金の募集を行います。
- 問い合わせ先 横手市共同募金会事務局（横手市社会福祉協議会本部地域福祉課内） ☎36-5377
又は、最寄りの各分会（横手市社会福祉協議会各福祉センター）まで

3月23日、「東北関東大震災 横手市災害支援ボランティアセンター」を横手市社会福祉協議会本部に設置しました

当ボランティアセンターでは、当面、市役所で受け付けしている被災地への支援物資の整理等にご協力していただけるボランティアを募集します。
〈被災地での活動も募集しますが、対応は後日となります〉

ボランティアを希望される方は、事前に登録が必要です。下記の留意事項をご確認の上、氏名、住所、連絡先、活動できる期間及び時間、資格（普通自動車運転免許等）等をボランティアセンターまでご連絡願います。（電話、FAX可）

※活動時期・内容等、登録者にあらためてご連絡いたします。

※市が設置する被災者の一時避難所での支援等をしていただけるボランティアについては、後日、募集を行います。

【登録にあたっての留意事項】 ● 自車で活動先までの移動が可能な方で、かつ、一定期間継続的に活動できる方。 ● 昼食等はご自身でご準備願います。 ● ボランティア活動保険に加入していただきます。（自己負担/280円/社協で手続き）

【問い合わせ先】 横手市災害支援ボランティアセンター（横手市社会福祉協議会本部地域福祉課内） ☎36-5377 FAX36-5388

震災関係等のお知らせ

「東北関東大震災」受付窓口を開設しています

～横手市共同募金会～

■受付窓口…横手市共同募金会各分会（横手市社会福祉協議会各福祉センター内） ■受付期間…平成23年9月28日(水)まで ■受付時間…平日8時30分～17時30分 ■問い合わせ先…横手市共同募金会事務局/横手市社会福祉協議会本部地域福祉課内 ☎36-5377 ※受付した義援金は、中央共同募金会より被災地の共同募金会に按分の上送金されます。

東北関東大震災に伴う被災地でのボランティア等の受け入れについて

～秋田県社会福祉協議会～

現在、ボランティアの受け入れは行っていません ボランティアの募集が行われる場合は、秋田県社協のホームページに掲載されます→秋田県社協ホームページURL <http://www.akitakenshakyo.or.jp/akitakenshakyo/>

現在、被災地では被害状況の把握、緊急救援活動を行っている段階であるほか、現在も余震が続いているため安全が保証できない、被災地に入る交通網も断たれていることなど、一般の方が現地に向かうことは困難な状況です。

こうしたことから、被災地において現時点で外部からボランティアの受け入れが出来ませんので、今後、ボランティアの受け入れ体制が整いしだい、全国的な支援の呼びかけが行われる見込みですので、ご理解下さい。

■問い合わせ先…秋田県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉・ボランティア担当 ☎018-864-2799/FAX 018-864-2702、又は、横手市社会福祉協議会本部地域福祉課、最寄りの各福祉センターまで。

横手市における震災に関する生活情報等のお問い合わせは各地域局へ

～横手市～

地震情報の詳細については、横手市のホームページ>東北地方太平洋沖地震情報（横手市震災支援対策本部）に掲載されています。→横手市ホームページURL http://www.city.yokote.lg.jp/saigai/saigai_0311jsin.jsp

【参考】こんな時どうするー地震時の対応も同ホームページに紹介されています。横手市のホームページ>消防・防災>こんな時どうするー地震時の対応URL <http://www.city.yokote.lg.jp/bousai/konnatoki02.jsp>

秋田県の地震関連情報に関するお問い合わせは平鹿地域振興局へ

～秋田県平鹿地域振興局～

秋田県の地震情報の詳細については、秋田県のホームページ「美の国あきたネット」>秋田県の地震関連情報～みんなで協力して、がんばりましょう～に掲載されています→秋田県ホームページURL <http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=genlist&GenrelID=1300175305632>

▽ 4月の無料法律相談の開設日・時間が一部変更になりました ▽

- 平鹿福祉センター…4日(月)・増田福祉センター…18日(月) → 10:00～12:00 → 13:00～15:00
- 大森福祉センター…15日(金) → 11日(月) ■山内福祉センター…22日(金) → 25日(月)